

# SUNSHINE

第 69号 2013年 1月発行  
 有限会社 太陽開発  
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623  
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発

検索 クリック!!

新年になり最初の“SUNSHINE”です。今年もよろしくお願ひ致します。さて、年明け早々の1月11日12日、会議で博多へ行ったついでに、今さら学問の神様でもないのですが、『大宰府天満宮』と『九州国立博物館』へ行って来ました。大宰府天満宮は、息子の大学受験以来でしたが、露店や猿回しもあり、参拝客が大変な賑わいでした。参道を焼きたての“梅ヶ谷餅”を頬張りながら歩き、参拝を済ませ、隣の『九州国立博物館』へ向かいました。当日は“ポストン美術館・日本美術の至宝特別展”が開催されていて、非常に運が良かったです。しかし、入館者が大変多く、前の人の肩越しに作品を観なければなりません。パンフレットによると、ポストン美術館は質・量共に世界有数の日本美術コレクションを誇り、東洋美術の殿堂と称されているそうです。そのコレクションの礎は、およそ百年以上前、ポストン美術館創成期に在職したアーネスト・フェノロサや岡倉天心[東京美術学校(現・東京芸大)を設立し、初代校長]によって築かれました。本展はその中から名品の46点を厳選して紹介するポストン美術館史上最大規模の日本絵画展です。

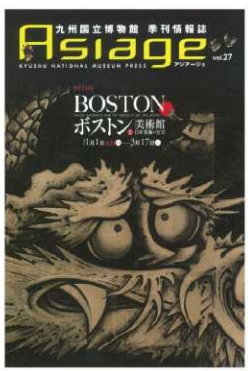
46点の内容は、日本に残っていれば国宝や重要文化財の指定を受けるにふさわしい、奈良時代から鎌倉時代までの仏教絵画17点、遣唐使、吉備真備の活躍をユーモラスに描く全長25メートルの「吉備大臣入唐絵巻」、平治の乱をダイナミックに描く「平治物語絵巻」の2大絵巻、中世水墨画と初期狩野派の作品、それ以外に尾形光琳の松島図屏風や曾我蕭白の雲龍図等の作品が展示してあります。これらの作品のすばらしさも然ることながら、私はフェノロサが明治初期に2万点もの古美術品を収集した時代背景や、日本美術界へ与えた影響について興味を持ったので、調べてみました。

フェノロサは米国人ですが、1878年日本に来て、東大で哲学や経済学を教えていた。来日後すぐに仏像や浮世絵など様々な日本美術の美しさに心を奪われ、古美術品の収集や研究を始めると同時に全国の古寺を旅した。やがて、日本人が日本美術を大切にしていなくてショックを受ける。原因として、明治維新後の日本は盲目的に西洋文明を崇拜し、日本人が考える“芸術”は海外の絵画や彫刻であり、日本古来の浮世絵や屏風は二束三文の扱ひを受けていた。写楽、北斎、歌麿の名画に日本人は芸術的価値があると思っておらず、狩野派、土佐派といったかつての日本画壇の代表流派は世間からすっかり忘れ去られていた。又、明治政府の廃仏毀釈により、仏像、仏画がタダ同然で叩き売られたり、破棄されている現実があった。そこでフェノロサは、日本美術の保護に立ち上がり、自らの文化を低く評価する日本人に対して、日本美術が如何に素晴らしいかを事ある毎に熱弁した。

又、寺宇や浮世絵が古美術商の店頭に並んでいても日本人は買わなかったし、誰も美術品と思わず欲しがらなかった。フェノロサは日本の美術品に“美”を見出し、真の価値を理解したので購入していった。これにより、時代背景のキーワードとして、廃仏毀釈、大名等の没落、西洋文明の崇拜が考えられます。又、日本美術についてはフェノロサの功績として、①維新後、西洋一辺倒の日本人に日本美術の素晴らしさに気付かせてくれたこと ②海外に日本美術の魅力を紹介することで、日本の国際的地位を高めてくれた③廃仏毀釈で危機的状況にあった仏像、仏画を救ってくれた 以上が考えられます。

もし、明治初期フェノロサが仏像、仏画や日本美術の素晴らしさを日本人に気付かせてくれなかったら、時代の流れにより貴重な美術品の大部分が消滅し、現代の我々は目にすることができなかったかもしれないとされ、フェノロサは日本美術を救ったという点で、恩人と言われているそうです。今回、この美術展へ足を運んだことで時代が変化する過程で価値観が変わり、日本古来の伝統や文化が断ち切られる現実がある事を実感しました。又、明治という時代の中で、日本美術を救ったのが外国人だった事実を意外に感じました。

“ポストン美術館・日本美術の至宝特別展”は3月17日まで開催されているので、皆様も機会があれば足を運んでみて下さい。お勧めします。[川越]



## 今月の一冊 No.68 骸骨ビルの庭



上巻：大阪・十三(じゅうそう)に戦前からある通称「骸骨ビル」。戦後の混乱期に住み着いて、オーナーの阿部徹正と茂木泰造に育てられた孤児たちを立ち退かせるために三人目の担当者として送り込まれた八木沢三郎は、一筋縄ではいかなそうに見える彼らの話に耳を傾けるうちに、困難だったであろう日々を思い描くようになる。下巻：今も親代わりの茂木の話では、彼らが一緒に育てた桐田夏美から性的暴力を受けたと訴えられ、失意のうちに亡くなった阿部徹正の名誉が回復されればみな立ち去るといふ。孤児たちの暮らしをなぞるように庭を耕し始めた八木沢は、真実を求めて夏美の消息を追うが…。人間の魂の絆を描いた感動の力作長編！

## 宮本 輝

1947年兵庫県神戸市生まれ。追手門学院大学文学部卒。'77年『泥の河』で太宰治賞、'78年『蜚川』で芥川賞、'87年『優駿』で吉川英治文学賞をそれぞれ受賞。'95年の阪神淡路大震災で自宅が倒壊。2004年『約束の冬』で芸術選奨文部科学大臣賞、'09年本作で司馬遼太郎賞を受賞。

大好きな宮本輝作品の初めての紹介です。骨太で正統派の読み応えのある作品でした。宮本先生の文章はいつも繊細さと力強さを合わせて持っていて、圧倒されます。

## 賃貸マンション(オーナー様)ご紹介します！

# エルシオン西千石

★新築★

今回ご紹介させて頂きますマンションは、平成25年2月末に完成予定の西千石町にあります新築、『エルシオン西千石』です。オーナー様は、CMでおなじみの【山下ミシン商会】代表取締役 山下哲朗様です。山下様はお部屋の内装やデザインを建設会社に全て任せず、どのような内装なら解放感を感じられるか、心地よくお部屋でお過ごし頂けるかを、出張先で宿泊されたホテルの内装を参考に各部屋の内装を決められたそうです！

とにかく入居者様が喜んで頂けるようにと、どのお部屋も、今流行りのポイントクロスを施し、キッチンパネルとの色合いにも配慮、浴室の壁の色にもとことんこだわってます！とってもおしゃれです☆間取りはワンルームから3LDKまで♪取材の際はまだ未完成でしたが、エントランス部分は分譲マンションの様に豪華にデザインされたそうです！！完成が楽しみです(◡\_◡)♪

あと、一番のオススメが、『オール電化』であるということです☆ガスを使いませんので、年配の方や、小さなお子さんがいらっしゃる方にも安心♪光熱費がとっても経済的です。天文館と、鹿児島中央駅まで徒歩圏内の好立地で、車をお持ちでない方や、お酒が大好きな方には最高！！当社でもご案内出来ますので、是非お問い合わせ下さい☆☆★[田淵]

浴室



リビング



洗面化粧台

キッチン

今回の遺跡探訪の舞台は、私の故郷の「肝付町(旧高山町)」です。鹿児島市内からフェリーに乗って車で約2時間、大隅半島のほぼ真ん中に位置する肝付町は平成17年に高山町と内之浦町が合併してできた町です。両町はともに、古くは「肝付氏」「島津氏」の治下にあった由緒正しい町なのです！！また、肝付町には国の重要文化財でもある「二階堂家住宅」やロケット打上げ施設の「内之浦宇宙空間観測所」、10月には900年近くの歴史がある「流鏝馬」があり、歴史と未来の融合した町なのです！（と私は信じてます(笑)）

最初に申しました「二階堂家住宅」ですが私どもは「二階堂屋敷」と呼んでおり、1,810年頃に建てられた木造茅葺屋根のおうちです。昭和50年6月に重要文化財に指定されました。この住宅の持ち主であった二階堂氏は鎌倉幕府の御家人発祥の豪族でしたが、島津氏配下となりこの地に移住されたそうです。最後の住人は衆議院議員で内閣官房長官などを歴任しました「二階堂進」先生なのです！しかもこの方、私の祖父とお友達だったのです！（じーちゃんスゲー(笑)）二階堂屋敷には私も何度も訪れたことがあります。やっぱり昔の建物は造りがしっかりしていてすごいですね。

次に、900年近くの歴史がある「流鏝馬」ですが・・・みなさん実際にご覧になられた事はありますか？私の家の近くにある「四十九所神社」で毎年10月の第3日曜日開催されるお祭りです♪馬に乗って駆け、弓矢で的を射るのですが、乗っているのは、な・な・んと中学生なんです！！私も若かりし頃、「流鏝馬に乗らんか？」と言われたことがありますが、やっせんぼうだった為に辞退させて頂きました(涙)今思うと惜しい事をしました。この流鏝馬が開催される神社の「四十九所」の謂れは祭神の総数、つまりは49人の神様がいらっしゃるのです。私も今年の正月に毎年恒例の「父と行く初詣♪」で参拝してまいりました(笑)中学生の頃は部活でこの階段を走って昇る「階段ダッシュ」をよくさせられてたもんです(涙)また、四十九所神社の裏には「城山」と言う山がありまして、これまた小さい頃はよく山登りをしたもんです(笑)今ではどちらも息があがってしまいますけど(笑)

まだまだ書く事はたくさんあるはずですが、今回の遺跡探訪はここまでです。今回も私の他愛の無い話を最後まで読んで頂きまして、誠にありがとうございます。また機会があれば書かせて頂きます。今年も「遺跡探訪」を宜しくお願ひ致します。

P.S. 肝付町の地元自慢をもうひとつ！妖怪の「一反木綿」は高山町のご出身です！！(笑)  
 P.S.2 最近お客様から「記事読んでるよ」「楽しみにしてるね」など、お褒めの言葉を頂きます。とても嬉しいです。こちらこそ、読んで頂きましてありがとうございます。[守屋]



やぶさめ



二階堂家屋敷



四十九所神社



内之浦宇宙空間観測所

※今回は、紙面の関係上 きしゃば飲食店 探訪は お休みします